

よなごびと

| 第97回 |

民間救急 RESCUE Aid（レスキュー エイド）

大迫 七峰（おおさこ ななお）さん

「行きたい」気持ちに寄り添いたい

鳥取県内でまだ数が少ない民間救急を担う大迫さん。民間救急は、緊急性の低い患者を搬送するサービスで、通院や入退院、転院などの際の移動手段として利用されています。こうした搬送を民間救急が担うことで、消防（119）の救急車の適正利用につながると期待されています。

大迫さんは広島市出身。高校3年生の時、広島市土砂災害で祖母の家が被災したことをきっかけに自衛官を志し、陸上自衛隊米子駐屯地で約10年間勤務しました。自衛隊では、熊本地震などの災害派遣に従事する一方、負傷者の救命技術を学び、救命講習の講師も務めました。こうした経験を重ねる中で、「有事でも平時でも、人助けがしたい」との思いが強まり、昨年夏、米子を拠点に民間救急事業を立ち上げました。

大迫さんが大切にしているのは、利用者の声を丁寧に聞くこと。搬送中も、できる限り利用者との会話を楽しみます。「話す内容は日常の何気ないこと。でも、会話の中でその人の隠れた思いに気づけることも多い」とほほ笑みます。在宅医療とも連携しながら、「医療と福祉と生活をつなげる役割を担っていきたい」と意欲を見せます。

今後は、買い物などの外出支援や、医療的なサポートが必要な人の旅行への付き添いにも取り組む考え。「移動はもっと自由でいいと思う。『行きたい』という気持ちに寄り添いたい」と力を込めます。



専用車両には、車いすやストレッチャー（寝台）のまま乗車できる





車両には鳥取県西部消防局の認定マークが貼られ、車内には吸引器や酸素ボンベなどを備える

米子市の人口と世帯数　令和8年10月末日現在（住民基本台帳による）　※（ ）内は前月比
人口 142,055人（−92人） 男性 67,792人（−60人） 女性 74,263人（−32人） 世帯数 69,497世帯（−11世帯）

広報よなご 2026 December vol.261 12
編集発行／米子市秘書広報課 〒683-8686 米子市加茂町一丁目1番地
☎0859−23−5372 ✉kouhou@city.yonago.lg.jp
印刷／東京印刷株式会社
毎月1日発行
UD FONT
今月もお読みいただきありがとうございます。広報よなごが皆さんのお役に立ちますように。